

味の素株式会社 2019年3月期第3四半期 決算概要①

■財務諸表・外部影響等

(単位:億円)

損益計算書	18/4-12月	17/4-12月*2	増減額	増減率	18/10-12月	17/10-12月*2	増減額	増減率	FY18修正予想	FY18再修正予想	差額
売上高	8,464	8,323	▲141	1%	2,999	3,038	▲38	▲1%	11,552	11,468	▲84
持分法による損益	1	32	▲31	▲96%	▲25	6	▲32	-	-	-	-
★ 事業利益 *1	742	808	▲66	▲8%	297	338	▲40	▲12%	957	862	▲95
固定資産売却益	5	3	▲2	31%	0	2	▲2	▲65%	-	-	-
その他	36	44	▲8	▲16%	8	13	▲5	▲36%	-	-	-
その他の営業収益	41	48	▲7	▲12%	9	16	▲7	▲40%	-	-	-
固定資産除去損	24	18	▲6	32%	7	7	▲0	▲4%	-	-	-
その他	316	58	257	438%	291	29	261	877%	-	-	-
その他の営業費用	340	77	263	341%	299	37	261	696%	-	-	-
★ 営業利益	444	779	▲335	▲43%	7	316	▲308	▲97%	900	502	▲397
受取利息	30	32	▲2	▲7%	11	10	1	14%	-	-	-
その他	26	16	▲10	60%	10	4	5	110%	-	-	-
金融収益	57	49	7	15%	21	15	6	44%	-	-	-
支払利息	25	21	3	16%	9	7	2	33%	-	-	-
その他	31	13	18	135%	15	6	9	143%	-	-	-
金融費用	57	35	21	62%	25	13	11	84%	-	-	-
★ 税引前当期利益	444	793	▲349	▲44%	4	318	▲313	▲98%	893	495	▲397
法人所得税	166	185	▲18	▲9%	29	56	▲27	▲48%	247	190	▲57
税率	37.5%	23.3%			709.7%	17.8%			27.8%	38.4%	
継続事業	277	608	▲331	▲54%	▲25	261	▲286	-	-	-	-
非継続事業 *3	18	20	▲2	▲13%	10	5	5	102%	-	-	-
当期利益	295	629	▲333	▲53%	▲14	266	▲281	-	656	316	▲340
★ 親会社の所有者	223	554	▲331	▲59%	▲37	241	▲278	-	550	216	▲334
非支配持分	71	74	▲3	▲3%	22	24	▲2	▲9%	106	100	▲6

*1 当社が経営管理のため独自に定義した利益指標。(売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益)

*2 前連結会計年度において、企業結合及び共同支配企業に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

*3 当第1四半期より、物流事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの利益は、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上高、事業利益、営業利益、税引前当期利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、対応する2018年3月期第3四半期についても同様に組み替えて表示しております。

★ 当第3四半期では、プロマシールド・ホールディングス社(以下、PH社)と味の素フーズ・ノースアメリカ社(以下、AFNA社)において減損損失を計上いたしました。なお、PH社およびAFNA社に関する減損損失の内容を各段階利益別に記載すると以下の通りです。

(単位:百万円)

	事業利益	営業利益 税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
①AFNA社に係るのれんの減損損失	-	13,525	10,047
②持分法で会計処理されているPH社に対する投資に係る減損損失(33.33%出資相当)	-	13,604	13,604
③PH社商標権に係る減損損失(33.33%出資相当)	3,222	3,222	3,222
合計	3,222	30,352	26,874

(単位:億円)

除く換算為替	18/4-12月	17/4-12月	増減額	増減率	18/10-12月	17/10-12月	増減額	増減率
日本食品	2,867	2,926	▲58	▲2%	1,058	1,079	▲21	▲2%
海外食品	3,698	3,483	214	6%	1,313	1,265	47	3%
ライフサポート	832	878	▲45	▲5%	286	317	▲31	▲9%
ヘルスケア	959	837	122	14%	313	305	7	2%
その他	205	198	7	3%	79	70	8	12%
売上高	8,563	8,323	239	2%	3,050	3,038	11	0%
日本食品	256	337	▲80	▲23%	132	157	▲24	▲15%
海外食品	344	342	2	0%	111	120	▲9	▲8%
ライフサポート	77	62	14	23%	27	34	▲6	▲19%
ヘルスケア	78	58	19	32%	37	29	8	28%
その他	3	6	▲3	▲43%	▲4	▲3	▲1	20%
事業利益	761	808	▲47	▲5%	304	338	▲33	▲9%

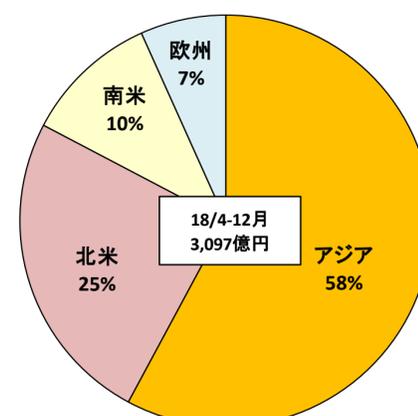
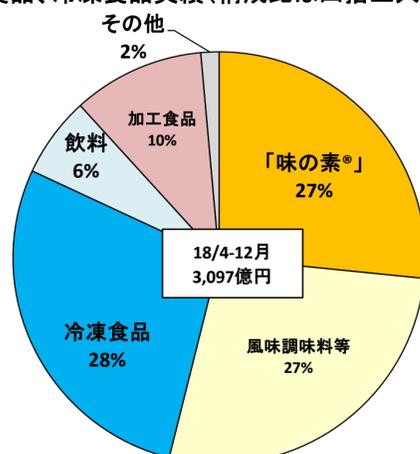
(単位:億円)

外部影響(対前年増減)	18/4-12月	18/10-12月
換算為替	売上高 ▲98 ・ 事業利益 ▲18	売上高 ▲50 ・ 事業利益 ▲7
貿易為替*	売上高 +約15 ・ 事業利益 +約10	売上高 +約5 ・ 事業利益 +約5
日本食品原材料	+5 (調味料・加工食品 +4、冷凍食品 +1)	+1 (調味料・加工食品 +1、冷凍食品 +0)
発酵原燃料	▲27 (主原料 ▲18、副原料 ▲7、エネルギー ▲0)	▲4 (主原料 ▲3、副原料 ▲1、エネルギー ▲0)
コストダウン(日本食品)	+23 (調味料・加工食品 +12、冷凍食品 +10)	+10 (調味料・加工食品 +6、冷凍食品 +4)

*5億円単位の概数で表示

為替レート	18/4-6月	17/4-6月	18/7-9月	17/7-9月	18/10-12月	17/10-12月	FY18修正予想
円/USD	109.10	111.09	111.43	111.00	112.91	112.98	111.00
円/EUR	130.03	122.26	129.55	130.37	128.82	133.02	129.00
円/THB	3.42	3.24	3.38	3.32	3.44	3.42	3.38
円/BRL	30.27	34.54	28.24	35.09	29.63	34.79	29.90

■海外調味料・加工食品、冷凍食品実績(構成比は四捨五入)



Five Starsおよび海外冷凍食品 売上高対前年増減率

タイ 約251億THB (LCベース+3%*, 円ベース+6%) *内訳>調味料 +1%、加工食品 +5%

インドネシア 約3兆8,745億IDR (LCベース+3%、円ベース▲4%)

ベトナム 約6兆705億VND (LCベース+1%、円ベース▲1%)

海外冷凍食品 LCベース+10%、円ベース+10%

ブラジル 約8.2億BRL (LCベース+2%*, 円ベース▲13 * +7%>昨年度計上ベースでの比較)

フィリピン 約58億PHP (LCベース+10%、円ベース+5%)

味の素株式会社 2019年3月期第3四半期 決算概要②

■セグメント別実績

【日本食品】 (単位:億円)

	18/4-12月	再修正予想	通期進捗	17/4-12月	増減額	18/10-12月	17/10-12月	増減額	
売上高	2,866	3,804	75%	2,926	▲ 59	1,057	1,079	▲ 22	※
調味料・加工食品	1,457	1,955	74%	1,445	12	547	546	1	*1
冷凍食品(日本)	741	978	75%	768	▲ 26	248	259	▲ 10	*2
コーヒー類	674	871	77%	712	▲ 38	268	274	▲ 6	*3
事業利益	256	292	88%	337	▲ 80	132	157	▲ 24	*4
調味料・加工食品	265	-	-	287	▲ 22	120	127	▲ 6	
冷凍食品(日本)	31	-	-	66	▲ 34	12	22	▲ 9	
コーヒー類	46	-	-	67	▲ 20	28	35	▲ 6	
全社共通費	▲ 86	▲ 125	69%	▲ 83	▲ 2	▲ 28	▲ 27	▲ 1	

※ 消去▲6億円含む

以下、2019年3月期第3四半期(18/10-12月)に関するコメントです。増減要因については、影響額の大きい順に並べております。

*1	家庭用、業務用共に前年並み。
*2	業務用は主力カテゴリーが拡大し増収。家庭用は「ギョーザ」シリーズ計で前年を上回るも、主力品の「やわらか若鶏からあげ」「ザ★チャーハン」が競争激化の影響等により減収。よって、全体で減収。
*3	主にギフト製品、市場縮小に伴う競争激化の影響を受けた家庭用製品、またCVS向けの減収により全体で減収。
*4	調味料・加工食品は、家庭用は各種コストの増加等により、業務用は原燃料価格の上昇影響等により減収。冷凍食品及びコーヒー類は、上述の売上減少等により大幅減収。

【海外食品】 (単位:億円)

	18/4-12月	再修正予想	通期進捗	17/4-12月	増減額	18/10-12月	17/10-12月	増減額	
売上高	3,606	4,795	75%	3,483	122	1,272	1,265	6	
調味料・加工食品	2,229	2,983	74%	2,206	22	775	788	▲ 13	*1
冷凍食品(海外)	868	1,164	74%	787	80	323	305	17	*2
加工用うま味調味料・甘味料	508	647	78%	489	19	173	171	2	*3
事業利益	331	394	84%	342	▲ 11	105	120	▲ 15	*4
冷凍食品(海外)	5	13	44%	28	▲ 23	10	11	▲ 1	
全社共通費	▲ 105	▲ 151	69%	▲ 108	2	▲ 31	▲ 34	3	

<調味料・加工食品 換算為替影響>

18/4-12月 売上高:▲79億円、事業利益:▲9億円

18/10-12月 売上高:▲35億円、事業利益:▲4億円

*1	「味の素®」やタイにおける缶コーヒーの値上げによる増収効果あるも、主に換算為替によるマイナス影響(▲35億円)や風味調味料が競争激化の影響等で苦戦し、全体で減収。
*2	欧州の販売拡大、北米におけるアジア製品やアパタイザー製品の販売拡大等により増収。
*3	加工用うま味調味料は主に海外における販売拡大により増収。甘味料は加工用の販売数量減少等により減収。 参考>加工用うま味調味料の売上高 135億円
*4	調味料・加工食品は主にプロマシンドール社の減損損失(▲32億円)、発酵原燃料価格上昇の影響等により大幅減収。冷凍食品は、米国における生産性改善が進むも、物流費の高騰等により減収。加工用うま味調味料は発酵原燃料価格上昇の影響あるも、増収に伴い大幅増益。甘味料は減収も、効率的なマーケティング活動により増益。 参考>調味料・加工食品 ▲29、冷凍食品 ▲1、加工用うま味調味料 +9、甘味料 +2

【ライフサポート】 (単位:億円)

	18/4-12月	再修正予想	通期進捗	17/4-12月	増減額	18/10-12月	17/10-12月	増減額	
売上高	825	1,184	69%	878	▲ 53	281	317	▲ 35	
動物栄養	557	835	66%	641	▲ 84	184	236	▲ 51	*1
化成品 *4	250	-	-	219	31	89	73	15	*2
その他	17	-	-	17	0	7	6	0	
事業利益	76	90	85%	62	13	27	34	▲ 7	*3
動物栄養	12	20	62%	19	▲ 6	2	19	▲ 17	
化成品 *4	91	-	-	72	18	32	23	9	
その他	▲ 4	-	-	▲ 3	▲ 1	▲ 0	▲ 0	▲ 0	
全社共通費	▲ 22	▲ 35	64%	▲ 25	3	▲ 6	▲ 8	1	

*4 セグメント変更点(過去実績組替済):ライフサポート「化成品」に含まれていた「化粧品素材事業」を2018年度よりヘルスケア「その他」へ変更しております。

*1	主にスレオニン、リジンの販売数量減少、トリプトファンの販売単価下落により大幅減収。
*2	主に電子材料の販売好調により大幅増収。
*3	動物栄養は、大幅減収に伴い大幅増益。化成品は大幅増収に伴い大幅増益。

【ヘルスケア】 (単位:億円)

	18/4-12月	再修正予想	通期進捗	17/4-12月	増減額	18/10-12月	17/10-12月	増減額	
売上高	959	1,419	67%	837	121	309	305	3	
アミノ酸	641	-	-	526	114	206	206	▲ 0	*1
その他 *5	317	-	-	310	7	103	98	4	*2
事業利益	74	111	67%	58	15	35	29	6	
アミノ酸	78	-	-	50	28	31	23	8	*3
その他 *5	25	-	-	34	▲ 9	13	14	▲ 1	*4
全社共通費	▲ 29	▲ 43	69%	▲ 26	▲ 3	▲ 8	▲ 8	▲ 0	

*5 セグメント変更点(過去実績組替済):ライフサポート「化成品」に含まれていた「化粧品素材事業」を2018年度よりヘルスケア「その他」へ変更しております。

*1	医薬用・食品用アミノ酸は子会社の新規連結影響および販売拡大等により増収。製薬カスタムサービスは欧州の減収により減収。 参考>医薬用・食品用アミノ酸 +9、製薬カスタムサービス ▲9
*2	化粧品素材の販売拡大等により増収。
*3	医薬用・食品用アミノ酸は主に増収に伴い大幅増益。製薬カスタムサービスは前年並み。 参考>医薬用・食品用アミノ酸 +8、製薬カスタムサービス +0
*4	全体で減収。

【その他】 (単位:億円)

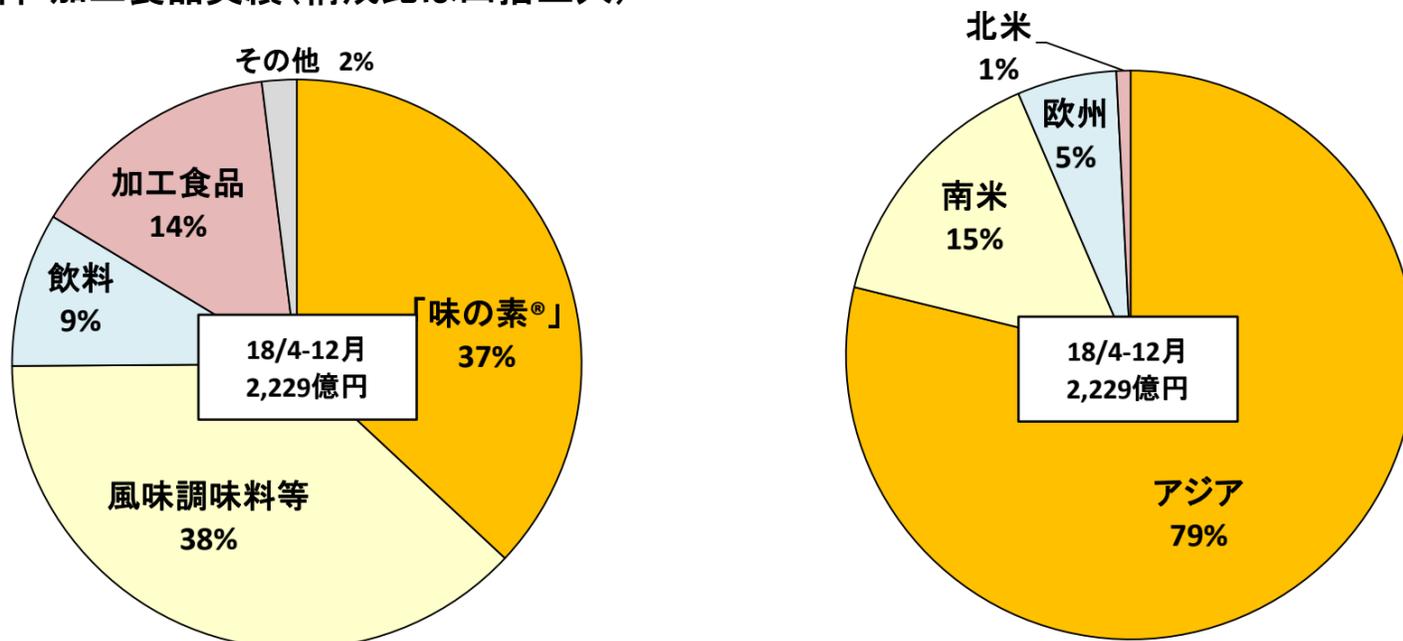
	18/4-12月	再修正予想	通期進捗	17/4-12月	増減額	18/10-12月	17/10-12月	増減額	
売上高	207	266	78%	198	9	79	70	9	*1
事業利益	3	▲ 25	-	6	▲ 3	▲ 4	▲ 3	▲ 0	*2
全社共通費	▲ 18	▲ 26	68%	▲ 17	▲ 0	▲ 5	▲ 5	▲ 0	

*1	サービス関連事業、包材事業の販売拡大等により増収。
*2	全体で前年並み。

味の素株式会社 2019年3月期第3四半期 決算概要③

2019年1月31日

参考1 海外調味料・加工食品実績(構成比は四捨五入)



参考2 地域別業績

(単位: 億円)

<売上高>	日本	アジア	米州	欧州	合計
日本食品	1,036 (▲20) 1,057	7 (▲1) 9	8 (1) 6	4 (▲1) 5	1,057 (▲22) 1,079
海外食品	41 (▲1) 43	655 (14) 641	454 (▲13) 467	120 (7) 113	1,272 (6) 1,265
ライフサポート	96 (15) 80	32 (▲5) 37	83 (▲28) 111	69 (▲18) 87	281 (▲35) 317
ヘルスケア	136 (12) 123	8 (▲1) 9	81 (17) 64	83 (▲24) 107	309 (3) 305
その他	44 (4) 39	35 (4) 30	- -	- -	79 (9) 70
合計	1,355 (10) 1,344	739 (10) 729	627 (▲22) 650	277 (▲36) 314	2,999 (▲38) 3,038

上段: 18/10-12月、下段: 17/10-12月、()内は増減額。

(単位: 億円)

<事業利益>	日本	アジア	米州	欧州	地域外	合計
日本食品	152 (▲25) 178	6 (2) 4	1 (0) 1	1 (▲0) 1	▲28 (▲0) ▲27	132 (▲24) 157
海外食品	▲23 (▲31) 7	117 (15) 102	38 (▲5) 43	4 (2) 2	▲30 (3) ▲34	105 (▲15) 120
ライフサポート	30 (6) 24	▲1 (▲2) 0	5 (▲5) 10	0 (▲7) 8	▲7 (1) ▲8	27 (▲7) 34
ヘルスケア	19 (2) 16	3 (4) ▲1	14 (5) 8	6 (▲3) 9	▲7 (▲2) ▲5	35 (6) 29
その他	4 (4) ▲0	▲2 (▲3) 1	- -	▲1 (▲1) ▲0	▲5 (▲0) ▲5	▲4 (▲0) ▲3
全社共通費等	▲42 (▲2) ▲40	▲19 (▲0) ▲19	▲12 (1) ▲14	▲6 (1) ▲7	80 (▲0) 81	- -
合計	140 (▲45) 186	104 (16) 87	46 (▲3) 49	5 (▲8) 14	- -	297 (▲40) 338

上段: 18/10-12月、下段: 17/10-12月、()内は増減額
全社共通費等には未実現利益消去等も含む。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

※ 本資料の金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

味の素株式会社 2019年3月期第3四半期 決算補足資料

:修正

◆当社シェアおよび市場関連情報

(1)主要製品 家庭用市場シェア(当社推定 消費者購入ベース)

調味料・加工食品

製品領域	主要ブランド	2016年度		2017年度			2018年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位)
					4-12月	年度		
うま味調味料	「味の素®」、「ハイミー®」	60	89%(1位)	56	90%(1位)	90%(1位)	54	90%(1位)
和風だしの素	「ほんだし®」	385	57%(1位)	376	58%(1位)	58%(1位)	369	57%(1位)
コンソメ	「味の素KKコンソメ」	120	80%(1位)	121	81%(1位)	81%(1位)	122	80%(1位)
スープ	「クノール®」	920	37%(1位)	940	37%(1位)	38%(1位)	959	38%(1位)
マヨネーズ類	「ピュアセレクト®」	451	26%(2位)	446	25%(2位)	26%(2位)	442	26%(2位)
合わせ調味料	「Cook Do®」、 「Cook Do®きょうの大皿®」	769	30%(1位)	779	30%(1位)	30%(1位)	811	31%(1位)

冷凍食品

製品領域	主要ブランド	2016年度		2017年度			2018年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位)
					4-12月	年度		
ギョーザ類	「ギョーザ」等	437	49%(1位)	444	48%(1位)	48%(1位)	3%程度成長	48%(1位)

コーヒー類

製品領域	ブランド	2016年度		2017年度			2018年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位)
					4-12月	年度		
インスタント瓶	「Blendy®」、「MAXIM®」	414	4%(3位)	387	5%(3位)	5%(3位)	372	5%(3位)
インスタント瓶詰替え	「Blendy®」、「MAXIM®」	301	42%(2位)	281	42%(2位)	41%(2位)	274	40%(2位)
スティック	「Blendy®」スティック、 「Blendy®」カフェラトリースティック	315	63%(1位)	326	60%(1位)	59%(1位)	337	58%(1位)
ホームレギュラー	「ちょっと贅沢な珈琲店®」	256	17%(3位)	240	16%(3位)	16%(3位)	232	15%(3位)
パーソナル・ レギュラー	「Blendy®」ドリップ、 「ちょっと贅沢な珈琲店®」ドリップ	197	15%(2位)	199	13%(3位)	13%(3位)	206	13%(4位)

(2)日本食品 家庭用/業務用比率*1

(単位:億円)

		2016年度	17/4-9月	17/4-12月	2017年度	18/4-9月	18/4-12月
調味料・加工食品	売上高	1,917	899	1,445	1,902	909	1,457
	家庭用	53%	51%	53%	54%	51%	53%
	業務用*2	47%	49%	47%	46%	49%	47%
冷凍食品*3	売上高	1,223	631	953	1,254	615	928
	家庭用	62%	63%	62%	63%	62%	60%
	業務用	38%	37%	38%	37%	38%	40%
コーヒー類*4	売上高	1,034	453	737	964	421	699
	家庭用	78%	73%	76%	75%	72%	75%
	業務用	22%	27%	24%	25%	28%	25%

*1:構成比は四捨五入、*2:業務用調味料・加工食品、加工用調味料(天然系調味料・酵素製剤等)、弁当・惣菜、ベーカリー、

*3:味の素冷凍食品社単体の数値であり、総売上高で記載、*4:味の素AGF社単体の数値を記載

(3)北米の日本食・アジア食の冷凍食品 当社推定市場規模および市場シェア

	2016年度	2017年度	2018年度予想
市場規模*1(百万USD)	611	643	4-5%成長
味の素フーズ・ノースアメリカ社*2	29%(1位)	30%(1位)	-

*1 除くクラブストア向け、PB

*2 2018年4月より社名変更(旧味の素ウィンザー社)

味の素株式会社 2019年3月期第3四半期 決算補足資料

:修正

(4)MSG、核酸系調味料 当社推定市場規模

	2016年度				2017年度			
	中国	その他	計	当社シェア	中国	その他	計	当社シェア
MSG(千ト)	1,620	1,540	3,160*1	約20%	1,640	1,570	3,210*2	約20%
核酸系調味料(千ト)	-	-	44	約30%	-	-	47	約30%

*1 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

*2 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

(5)アミノ酸系甘味料アスパルテーム 当社推定市場規模

	2016年度		2017年度		2018年度予想	
	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア
アスパルテーム(千ト)	25.5前後	30%弱	26.0前後	30%弱	27.0前後	30%弱

(6)飼料用アミノ酸 市況および当社推定市場規模

		2016年度	17/10-12月	2017年度	18/4-9月	18/10-12月	2018年度 予想*2
スプレッド(USD/ST)*1		210	190	195	210	175	170-230
市場価格 (USD/kg* CIFベース)	リジン	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40前後
	スレオニン	1.75	1.75	1.70	1.55	1.50	1.50前後
	トリプトファン	8.00	11.50	11.00	11.00	8.00	9.5前後
市場規模 (千ト)	リジン	2,300前後	/	2,400前後	/	/	2,600前後
	当社シェア	15%前後		15%前後			15%前後
	スレオニン	540前後		640前後			700前後
	当社シェア	20%前後		20%前後			15%前後
	トリプトファン	33前後		37前後			41前後
	当社シェア	20%前後	25%前後	25%前後			

*1 シカゴ商品取引所(CBOT)の大豆粕とトウモロコシの価格差 *2 業績予想の前提とは一致せず

◆セグメント別SG&A、設備投資内訳

(1)減価償却費

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	17/4-9月	2017年度	18/4-9月	2018年度予想
日本食品	105	107	55	122	64	124
海外食品	179	175	96	196	98	218
ライフサポート	74	59	31	63	27	58
ヘルスケア	58	58	32	72	37	80
その他	24	21	10	20	11	17
全社	54	40	21	42	21	40
計	497	462	248	517	259	537

(2)設備投資

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	17/4-9月	2017年度	18/4-9月	2018年度予想
日本食品	480	448	72	168	78	223
海外食品	196	214	131	311	79	410
ライフサポート	76	87	32	66	23	55
ヘルスケア	59	88	50	160	53	159
その他	40	24	13	32	11	32
全社	40	32	24	55	40	66
計	893	896	324	794	287	945

(3)研究開発費

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	17/4-9月	2017年度	18/4-9月	2018年度予想
日本食品	35	34	16	34	17	41
海外食品	33	35	18	37	18	39
ライフサポート	48	50	25	52	27	54
ヘルスケア	27	25	11	25	15	30
その他	-	2	2	8	1	2
全社	119	122	61	119	62	130
計	265	271	135	278	142	296